

2020年1月12日(日)朝10:10～  
1月第2共同主日礼拝式説教

主の降誕節第3、役員会等  
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**わたしにつまずかない人は、  
幸いである(6節)**

聖書:マタイ 11章1～6節

<口語訳>

新約聖書16～ 頁

マタイ 11章1～6節

<新共同訳>

新約聖書19～ 頁

マタイ 11章1～6節

<新改訳第3版>

新約聖書19～20頁

マタイ 11章1～6節

<塚本訳>

新約聖書96～97頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日の**マタイ11:1～6**は、**神が御子イエス・キリスト様の先駆けの預言者**として派遣された**ヨハネ**が、**旧約聖書イザヤ書35:5～6の成就**のためであることを告げています。

⇒**ヨハネ自身**は、十分に自分の役目が理解できず、**ヨハネの弟子**を**御子イエス・キリスト様**のもとへ派遣しているのです。

⇒**御子イエス・キリスト様**が、**旧約最大の預言者**と言われた**ヨハネ**さえも、主のことは分からなかったのですが、今日の私たちは、**ヨハネ**が知りたかったことを知らされているのです。

⇒「**わたしにつまずかない人は、幸いである(6節)**」と、主のみことばを聴ける人は、幸いです。今も、主がそばにおられることを確信できるからです。

⇒新しい時代の先駆者とされたことは幸いです。

本論；

◇本日、**マタイ書11章1～6節**から主の**使信**に**思い・心**vousをとめます。

◆**マタイ11章1～6節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**が、**ヨハネの疑問**に対し、彼を「**主の福音の使者**」(マラキ書3:1)と示し、「**御子イエス・キリスト様ご自身のなさる奇蹟**」の事実を見るように語り、**ヨハネが、御子イエス・キリスト様の先駆けとしての働き・生き方をする姿をイザヤ書35:5～6の預言の成就と見て下さり、彼こそ、「十字架を背負って主に従う者(38)」の先駆け**であるとしてられているのです。

◇**11:1節**；塚本訳◆**迎える者への褒美**

「1 イエスは十二人の弟子に指図を終えられると、町々で教えまた(福音を)説くために、そこを去られた。

◇**11:2～6節**；塚本訳◆**ヨハネ、イエスにつまずく**

2 さて(洗礼者)ヨハネは牢屋で、(イエスの)救世主としての働きを聞くと(心が動揺し、)弟子たちをやって、

3 「来るべき方(救世主)はあなたですか、それ

ともほかの人を待つべきでしょうか」とたずねさせた。

- 4 イエスは答えられた、「行って、(今ここで)聞いていること見ていることをヨハネに報告しなさい。
- 5 ——『盲人は見えるようになり、』足なえは歩きまわり、癩病人は清まり、聾は聞き、死人は生きかえり、『貧しい人は福音を聞かされている』と。
- 6 わたしにつまずかぬ者は幸いである。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**11:1節**；「イエスは十二人の弟子に指図を終えられると、町々で教えまた(福音を)説くために、そこ(ユダヤ地方)を去られた」と、「**神の御子イエス・キリスト様**」は、「**マタイ11～18章のガリラヤ地方伝道**」へと、「回り道」(バクスター全解585頁)をされ、「ユダヤ人指導者の敵意」を見て取り、「主の弟子訓練」に専念されたのです。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」の「**十字架の道**」は、**マタイ19章**から展開し、**ヨハネ**には、**先駆け**としての役目は終わったことを暗に示された。

◇**2～6節**；「さて(洗礼者)ヨハネは牢屋で、(イエスの)救世主としての働きを聞くと(心が動揺し、)弟子たちをやって(2)」、「来るべき方(救世主)はあなたですか、それともほかの人を待つべきでしょうか」と**ヨハネ**は主にたずねさせた(3)、**ヨハネ**に対して、イエスは答えられた(4)、「行って、(今ここで)聞いていること見ていることを**ヨハネ**に報告しなさい(4)。「——『盲人は見えるようになり、』足なえは歩きまわり、癩病人は清まり、聾は聞き、死人は生きかえり、『貧しい人は福音を聞かされている』と(5)、わたしにつまずかぬ者は幸いである(6)」、「**神の御子イエス・キリスト様**」は、「**バプテスマのヨハネの遣わした弟子2人**」に、「——『盲人は見えるようになり、』足なえは歩きまわり、癩病人は清まり、聾は聞き、死人は生きかえり、『貧しい人は福音を聞かされている』と」、主がなされている奇蹟の事実を伝えるように示されたのです。

⇒間接的に、ご自身の弟子たちに、弟子の果たすべき役割を示されたのです。

⇒今日の私たちの役目でもあります。

- ⇒ **マラキ書3:1**での預言が、旧約聖書最後の預言者**バプテスマのヨハネ**によって成就したとされますが、**マラキ**という預言者は、存在しないのです。
- ⇒「**マラキ**」は、「**わたしの使者**」という意味なので、「**わたし(主)**」に派遣される使者は、**ヨハネ**だけでなく、今日も、「**わたし(主)の使者**」なのです。
- ⇒家族、教会、職場、一般社会など、ともに生きる場所での**福音の先駆け**としての使命を持ち、**神の御子イエス・キリスト様のなされた出来事**を福音の使者らしく生活することが求められています。
- ⇒**マラキのように**、名前も知られない多くの**主の働き人の生活**によって、福音はあかしされているのです。
- ⇒**ヨハネのように**殉教することが、**神の預言者**ではなく、**神・主のことば**を聞いたことを心に刻み、福音・聞いたみことばに従って生活することが、**神の遣わされた者の役割**です。
- ⇒**ヨハネ**は、荒野の人でしたが、彼の悔い改めの地味で、厳しいことばが、人を魅惑しました。

## 結論；

◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓(説教)**の箇所です。

◇本日の**マタイ11:1～6**は、**神が御子イエス・キリスト様の先駆けの預言者として派遣されたヨハネ**が、**旧約聖書イザヤ書35:5～6の成就**のためであることを告げています。

⇒**ヨハネ自身**は、十分に自分の役目が理解できず、**ヨハネの弟子を御子イエス・キリスト様**のもとへ派遣しているのです。

⇒**御子イエス・キリスト様**が、**旧約最大の預言者**と言われた**ヨハネ**さえも、主のことは分からなかったのですが、今日の私たちは、**ヨハネ**が知りたかったことを知らされているのです。

⇒「**わたしにつまずかない人は、幸いである(6節)**」と、主のみことばを聴ける人は、幸いです。今も、主がそばにおられることを確信できるからです。

⇒新しい時代の先駆者とされたことは幸いです。

⇒「来るべき方(救世主)はあなたですか、それともほかの人を待つべきでしょうか」とヨハネはたずねさせたとありますように、あの偉大な預言者と、**御子イエス・キリスト様**が評価された**ヨハネ**さえ、獄中で、自分が語って来たことの真実を確認したいという不安に陥りました。

⇒目に見えない「**神のみことば**」を信じ抜く時、不安はつきものです。**神の約束のみことば**が心の慰めであり、**神の約束の実現を求めての祈り**の現実が、励ましです。

⇒ルカ福音書1:44、45;【口語訳】

<エリサベツのことば>

44 ごらんなさい。あなたのあいさつの声わたしの耳にはいったとき、子供が胎内で喜びおどりました。

45 主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」。

⇒**神のみことばを聴いて実現を経験した祈り**の人は、**神のみことばに聴き、祈っている人**とその心と思いを共感・共有できるのです。

⇒つぶやき、思い煩いの思いを共有できません。